

# 第 11 期 pES club シナリオ 5

平成 24 年 6 月 3 日

横浜市立市民病院 薬剤部

五十嵐 俊

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巢医科大学薬学部の 6 年生で、毎月 pES club という勉強会に参加しています。先日中学校の同窓会に参加したあなたは、友人からこんな相談を受けました。

友人「うちのじいちゃんなんだけど、最近元気が無くてどうもうつ病みたいなんだ。うつ病は心の風邪っていうじゃん。病院嫌いのじいちゃんをなんとか説得して近所の診療所に行ったんだ」

あなた「そうだったんだ、大変だったね」

友人「お医者さんからは軽いうつ病じゃないかって言われて薬が出たんだけど、じいちゃん全然薬飲まないんだよ。あんなもの毒だって。薬なんかに頼ってたら早死にしちゃうから、捨てろって」

あなた「おじいちゃん相変わらずだねえ。昔、交通事故にあった時も唾付けりゃ治るって言って病院に行こうとしなかったよね」

友人「そうなんだよ、でも今回はさすがに心配でさ。おばあちゃんも亡くなったばかりだし。お前、薬学部に通っているんだよな。幼なじみのよしみでさ、お前からおじいちゃんに薬飲むように説得してくれないかな。病院からもらう薬だから安心だって」

あなた「……」

成り行き上、あなたは友人の祖父に薬について説明することになりました。「薬は毒」という言葉が気になり、説明の前に抗うつ薬を飲んでも早死にしないことを確認しようと思い、抗うつ薬の服用が本当に死亡のリスクを上げるのか調べてみることにしました。

# 第 11 期 pES club シナリオ 5 (追加シナリオ)

平成 24 年 6 月 3 日

横浜市立市民病院 薬剤部

五十嵐 俊

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

友人の祖父は宇津木文弥さんといって、年齢は 72 歳、生来健康で、15 年前に交通事故に遭った以外には、大きな怪我もしたことはありません。宇津木さんは元銀行マンで、生き馬の目を抜くような環境で役員にまで出世したことが自慢です。そのため普段から、少々のストレスなどへっちゃらだと言っています。現在は年金をもらいながら、週 3 回、マンションの管理人のアルバイトに出かけています。約 3 ヶ月前に奥さんをごんごんで亡くしてから元気が無くなってきたそうで、見かねた家族が、1 週間程前に宇津木さんを駅前のメンタルクリニックに受診させました。軽いうつ病と診断され、2 週間分の薬が処方されました。

## 処方

ジェイゾロフト (25mg) 1 錠 1 日 1 回 寝る前 14 日分

うつ病の「軽い」とはどの程度かよく分かりませんが、ちょっと元気をなくして食欲が落ちたくらいで、これまで通り外出したり、マンションの管理人の仕事もきちんとなしています。ただ、友人の目から見ても、奥さんが亡くなった前と後では明らかに違うようです。朝は 5 時くらいには目が覚めているようですが、昔から早起きだったので、友人はこんなものかも知れないと思っています。

宇津木さんは現在、他の医療機関には通院しておらず、常用している薬もサプリメントもありません。15 年前に禁煙し、飲酒は、勤務の無い週末に晩酌をする程度です。

宇津木さんは何でも自分で決める性格で、仕事をしていた頃は、会社でも全て自分で指示を出していたそうです。ただ、奥さんの言うことだけには耳を傾けるといって一面も持っていました。